

季美の森リハビリテーション病院

Kiminomori Rehabilitation Hospital



心とからだの回復を目指して。

理念

あす

「未来の暮らしを共に考え、治し支える医療へ」

私たちは、回復期リハビリ病院として、退院後も患者さん及びご家族が笑顔で過ごせる様、一人ひとりが心の温まる医療と知識、技術を提供いたします。

基本方針

- 1) 一人ひとりの患者さんの意思を尊重し、多職種がチームを組み、最善の回復期リハビリテーション医療を実践します。
- 2) 安全で根拠のある、質の高い医療サービスを提供する為に、自らの人間性と専門性の向上を常に研鑽いたします。
- 3) 退院後も健やかで活動的に過ごせるように、病院から在宅への切れ目のないサポート、安心な地域生活サポートに努めます。

ごあいさつ

健やかな暮らしを実現するために

当院は2014年4月に開院した、山武・長生・夷隅でも数少ない回復期リハビリテーション病院です。「未来の暮らしを共に考え、治し支える医療へ」という理念のもと、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、介護福祉士等が連携し『運動機能の向上』『日常生活動作の向上』『社会復帰』を目指したチーム医療に取り組んでおります。

また、当院では退院後も在宅生活をサポートし、安心して地域生活を送っていただけるよう、隣接する季美の森整形外科診療所をはじめ、グループ内4診療所においてリハビリを継続でき、介護を必要とする患者さんにはグループ内介護事業所にてご支援をいたします。今後も地域に根ざしたリハビリテーション医療を提供し、地域医療に貢献していく次第です。

回復期リハ病院は近隣の急性期病院とのスムーズな連携が必要で、リハビリテーションのためのスタッフ・設備の充実も求められます。当院では医師6名、リハビリテーション専門職が約100名、看護師介護福祉士など約90名、そのほか薬剤師、ソーシャルワーカー、管理栄養士など総勢240名を超える医療職員が患者さんの一日も早い在宅復帰を目標にご家族の方とも協力しながらリハビリテーションを進めています。病院開設から10年を迎えた現在、全国平均を超える在宅復帰率を維持し、多くの患者さんに在宅へ戻っていただいています。「未来の暮らしを共に考え、治し支える医療へ」の理念の基にこれからも職員一同、地域の皆様の期待にお応えできるよう努力していきたくと考えております。



理事長 李 笑求
山武郡市医師会理事



病院長 伊達 裕昭

【経歴】

1975年 千葉大学医学部卒業
1975年 千葉大学医学部 脳神経外科入局
1980年 千葉大学医学部 脳神経外科 (文部教官助手)
1983年 労働福祉事業団鹿島労災病院 副部長 (脳神経外科)
1986年 千葉大学医学部 脳神経外科 (文部教官助手)
1988年 千葉県こども病院 医長 (脳神経外科)
1999年 同 診療部長
2004年 同 病院長
2017年～季美の森リハビリテーション病院 病院長

【所属学会・認定等】

日本脳神経外科学会専門医
日本脳神経外科学会指導医
日本神経内視鏡学会 技術認定医
難病指定医
医学博士
千葉県医師会保険診療委員会委員

病院概要

名称：医療法人社団 鎮誠会
 季美の森リハビリテーション病院
 住所：千葉県大網白里市季美の森南1丁目30-1
 理事長：李 笑求
 病院長：伊達 裕昭
 副院長：石毛 尚起

敷地面積：11,694.61㎡
 延床面積：5,998.54㎡
 病床数：回復期リハビリテーション病床 120床
 2階60床 3階60床の2病棟
 開院日：2014年（平成26年）4月2日
 TEL：0475-71-3366（代表）
 FAX：0475-71-3367（代表FAX）
 診療科目：リハビリテーション科 神経内科

施設基準

令和6年4月1日 現在

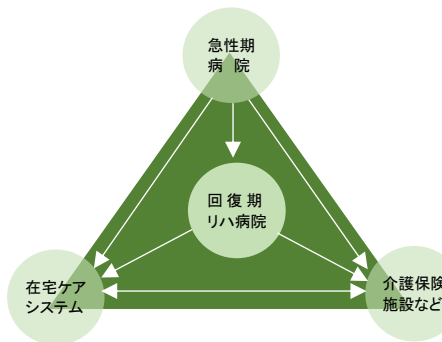
- 1 基本診療料
 - 回復期リハビリテーション病棟入院料1
 - データ提出加算1
 - 入退院支援加算1
 - 体制強化加算
 - 認知症ケア加算2
 - 医療安全対策加算2
 - 医療安全対策地域連携加算2
 - 二次性骨折予防継続管理料2
- 2 特掲診療料
 - 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
 - 廃用症候群リハビリテーション料（I）
 - 運動器リハビリテーション料（I）
 - CT撮影（16列以上64列未満のマルチスライス型）及びMRI撮影（1.5テスラ以上3テスラ未満）
 - 外来リハビリテーション診療料
 - 歩行運動処置（ロボットスーツによるもの）
 - 薬剤管理指導料
- 3 入院時食事療養費／生活療養（I）
 - 入院時食事療養（I）
 - 入院時生活療養（I）
 - 特別食加算
 - 食堂加算

回復期リハビリテーション病院とは

脳血管障害や骨折の手術などのため急性期病院で治療を受け、病状が安定し始めた発症から1～2か月後の状態を回復期といいます。

この回復期といわれる時期に集中的なリハビリテーションを行うことで低下した能力を再び獲得するための病棟を回復期リハビリテーション病棟といいます。

当院では回復期の患者さんに対して、機能の回復や日常生活に必要な動作の改善を図り、寝たきり防止と社会や家庭への復帰を目的とした、患者さんごとのリハビリテーションプログラムに基づき、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、介護福祉士、薬剤師、管理栄養士等が協働で集中的なリハビリテーションを提供いたします。



《回復期リハビリテーション病棟 対象疾患》

対象疾患	入院限度期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の状態	180日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	90日
外科手術後又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	90日
股関節又は膝関節の置換手術後の状態	90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	60日
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	90日
上記の状態に該当しない場合	リハビリテーション6単位以内 療養病棟入院料1の算定

※対象外の方もまずはお問い合わせください

主な設備・医療機器等

	名 称	使 用 用 途
設備	・創造の丘（リハビリ庭園） ーお出かけ体験広場ー	退院後の生活で遭遇する外での様々な環境を入院生活の中で経験する施設です。信号機や横断歩道、見通しの悪い交差点、バスや電車の乗り降りなど公共交通機関の環境も再現しています。
	・在宅復帰調整室	自宅に近い環境でリハビリテーションを行うことができるよう、和室タイプと洋室タイプがあります。
主な医療機器	・MRI（1.5テスラ）	造影剤を使わずに大血管から末梢血管まで、血管の異常を見分けることも可能です。
	・CT（16列マルチスライス）	広範囲を高速・高画質で撮影し、正確な病状把握を支えます。
	・一般X線撮影装置	広い可動範囲によるスムーズな撮影で患者さんの負担を抑えます。
	・デジタルX線TVシステム	口から食べる機能に異常がないかを検査する嚥下造影に対応しています。
	・超音波診断装置	
主な評価機器	・GRAIL system + VICON	床反力付きトレッドミル + 3次元動作解析装置
	・VICON	3次元動作解析装置
	・イージーテック	膝関節筋力測定器
	・アイトラッキングシステム	注視点計測装置
	・SRソフトビジョン	座圧分布計
	・Inbody	体組成分析装置
	・ドライブシミュレーター	反応検査や模擬走行などによる運転能力評価
主な物理療法機器	・渦流浴（上肢）	上肢用ジェット噴射付き簡易型浴槽
	・インテレクト	多機能物理療法機器
主なトレーニング機器	・上肢エルゴ	負荷装置付き自転車（上肢）
	・下肢エルゴ	負荷装置付き自転車（下肢）
	・キネシス	チューブ型全身トレーニングマシン
	・ARKE	多機能トレーニング機器類
	・レッグプレス	総合下肢筋トレーニング機器
	・レッグエクステンション	膝伸展筋トレーニング機器
	・レッグカール	膝屈曲筋トレーニング機器

創造の丘（リハビリ庭園）－お出かけ体験広場－

創造の丘は、患者さんが在宅復帰した際の様々な環境を体験出来る広場です。在宅復帰した際に、家に閉じこもることなく、皆さんのお出かけに少しでも自信を持ってもらうために、病院にいる間もそんな様々な場面をシミュレーションし、経験してもらうことで、充実した在宅復帰を体験できる場所です。

創造の丘は、4つのエリアに分かれています。

1. 自宅・庭エリア
2. 公共施設エリア
3. 電車・駅エリア
4. 自然散策エリア



自宅・庭エリア



公共施設エリア

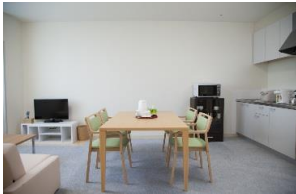


電車・駅エリア



自然散策エリア

主な設備 在宅復帰調整室



2F 洋室タイプ



3F 和室タイプ

家の環境は、通路は狭く、トイレや浴槽にも車椅子を一旦降りて歩かなければならないなど、入院生活とは異なることも想定されます。入院中でも家の環境に近い状態で生活に密着したリハビリを行います。



主なトレーニング機器



上肢エルゴ・下肢エルゴ
ウォーミングアップやクールダウン持久力の向上など、上肢・下肢バイクの用途は、多岐にわたります。



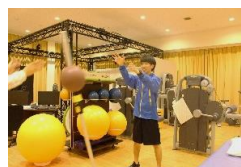
キネシス
全身の筋力・柔軟性・持久力をバランス良くトレーニングすることができます。



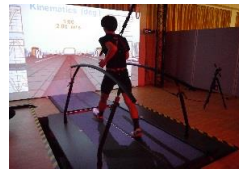
レッグプレス
下肢全体の筋力トレーニングを行うことができます。また、上半身を完全に倒したトレーニングも可能です。



ARKE
体幹やウェイトトレーニングを一カ所で行うことができ、いろいろなバリエーションを展開できます。



主な評価機器



GRAIL system
10台のカメラで歩行時の3次元動作解析を行い、客観的に歩行能力の評価を行います。



イージーテック
膝の筋力を測り、歩行能力や自立度の設定の評価を行います。



アイトラッキングシステム
課題遂行中の視線を客観的に評価します。



SRソフトビジョン
座っている状態や寝ている状態に偏りがいないか評価を行います。



Inbody
身体の栄養状態を定期的に評価し、筋力や歩行能力などとの関係を見ています。



ドライブシミュレーター
脳損傷後の方を対象に、運転評価・訓練をします。また、運転補助装置を使用し、左上下肢での運転評価が可能です。

主な物理療法機器



インテレクト
干渉電流、電気治療、高電圧パルスなど25種類以上の電気治療法と超音波療法の両方の治療が可能です。

入院から退院までの流れ

病院からのご紹介

ご家族から

診療所からのご紹介

お問い合わせ窓口

[代表]

■TEL 0475-71-3366

■FAX 0475-71-3367

[地域医療連携室直通]

■TEL 0475-71-2254

■FAX 0475-72-2377

[受付]

■月~金 9:00~17:00

祝日も対応いたします



☎ 電話相談



病院からの紹介



入院決定



家族面談

(必要に応じて)

入院に関する説明や
病棟をご案内します。



必要時、医師の面談
を行う場合もあります。

入院



患者さんのお体の状態
を確認しながら、リハ
ビリを行います。

リハビリテーション



定例カンファレンス

主治医を始め、担当チ
ームで毎月会議を行い
患者さんの状態確認や
目標設定をします。



退院準備

退院先は患者さんやご
家族の意向を確認し、
退院後の生活に合わせた
リハビリを行います。



退院

自宅での外泊を試した
り、介護サービスや福
祉用具の選定をお手伝
いします。



入院生活の1日

【起床】

6:00

歯磨き・洗面・更衣を済ませます



【夕食】

18:00

季節ごとの行事に合わせた

イベント食も楽しみのひとつです♪



【就寝】

21:00

今日も1日お疲れ様でした

入院から 1ヶ月 が経過した方

	7:30	9:00	10:00	11:00	12:
月曜日	朝食				
火曜日	朝食	理学療法	入浴		
水曜日	朝食	理学療法	言語療法		
木曜日	朝食				理学療法
金曜日	朝食		入浴	言語療法	理学療法
土曜日	朝食			言語療法	
日曜日	朝食	理学療法			

入院から 4ヶ月 が経過した方

	7:30	9:00	10:00	11:00	12:
月曜日	朝食	理学療法			
火曜日	朝食	言語療法			理学療法
水曜日	朝食	自主トレ			理学療法
木曜日	朝食	自主トレ			言語
金曜日	朝食		理学療法		
土曜日	朝食	理学療法		言語療法	
日曜日	朝食		自主トレ		

【リハビリテーション】

9:00

午前のリハビリテーションの開始

【朝食】

7:30



【入浴】

目安として入浴は週2回を
予定しています



【リハビリテーション】

13:00

午後のリハビリテーションの開始



【昼食】

12:00



畑で収穫した
野菜は調理訓練に
も使用します♪

の1日のスケジュール (例)

00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
昼食	作業療法			理学療法		夕食
昼食	理学療法		言語療法			夕食
昼食				理学療法		夕食
昼食	言語療法	理学療法				夕食
昼食	理学療法		作業療法			夕食
昼食		理学療法				夕食
昼食		作業療法				夕食

1日平均7~8単位実施

(1単位20分)

入院から1ヶ月経過した頃
には、リハビリにも慣れて自身で
ペースがつかめてくる時期になり
ますので、リハビリも積極的に介
入を行っていく時期になります。

の1日のスケジュール (例)

00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
昼食		理学療法	理学療法			夕食
昼食		入浴	理学療法			夕食
昼食			理学療法		作業療法	夕食
療法	昼食		理学療法		作業療法	夕食
昼食	入浴	理学療法		言語療法	作業療法	夕食
昼食					言語療法	夕食
昼食	理学療法		自主トレ	作業療法		夕食

入院から4ヶ月経過した頃
には、体力の向上や自身で行う
リハビリも増え、退院後の生活を
想定し、自立して行えることを
増やしていく時期になります。

施設案内



特別個室付属室



特別個室



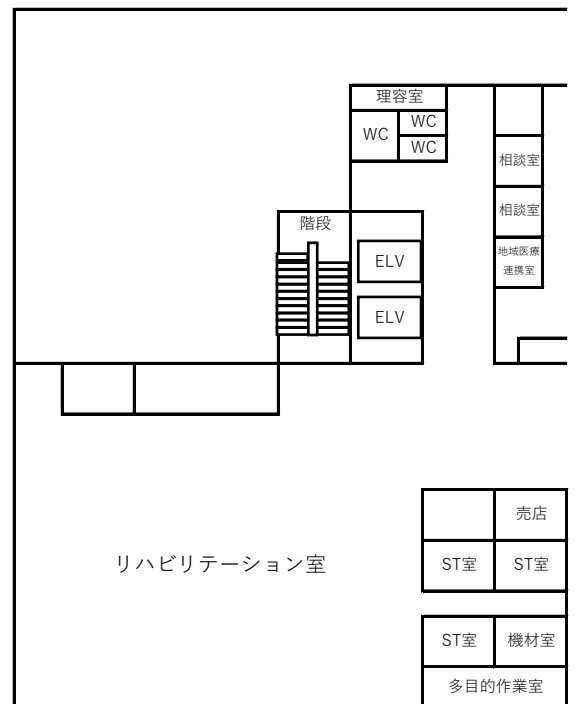
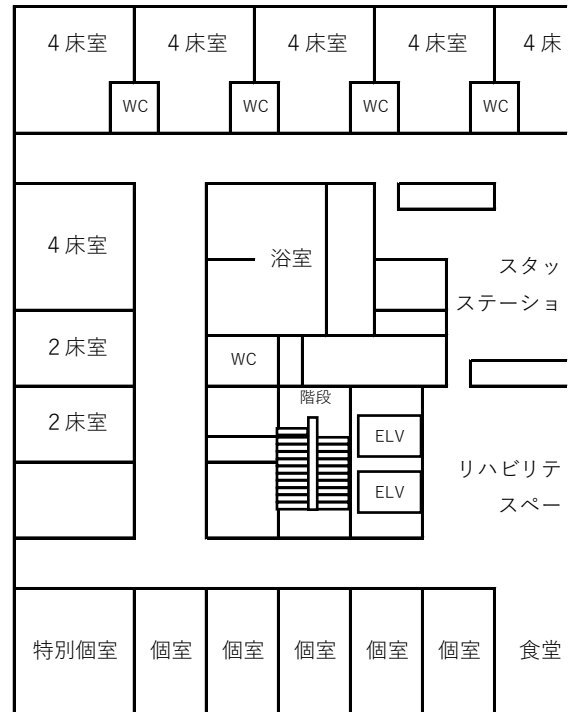
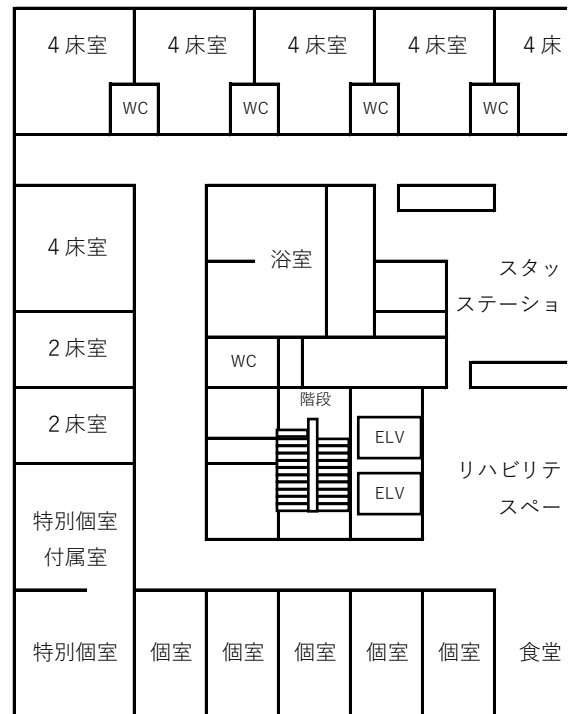
特別個室内浴室



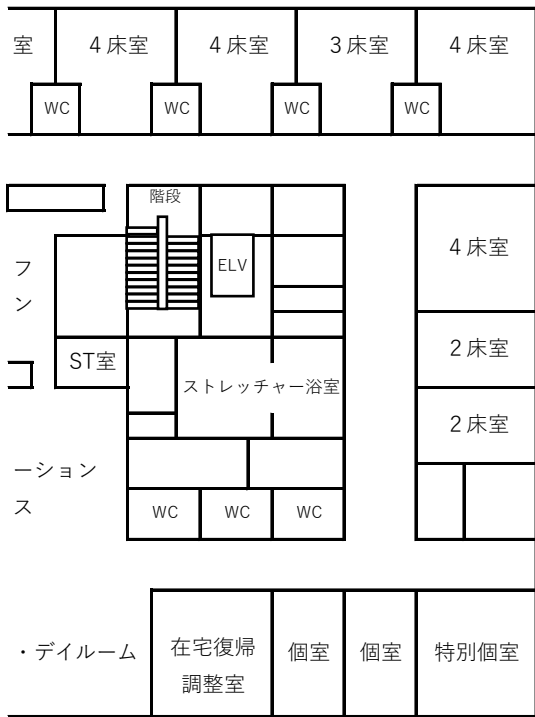
2F・3Fダイニング



創造の丘（リハビリ庭園）では四季折々の様子が楽しめます



創造の丘
（リハビリ庭園）



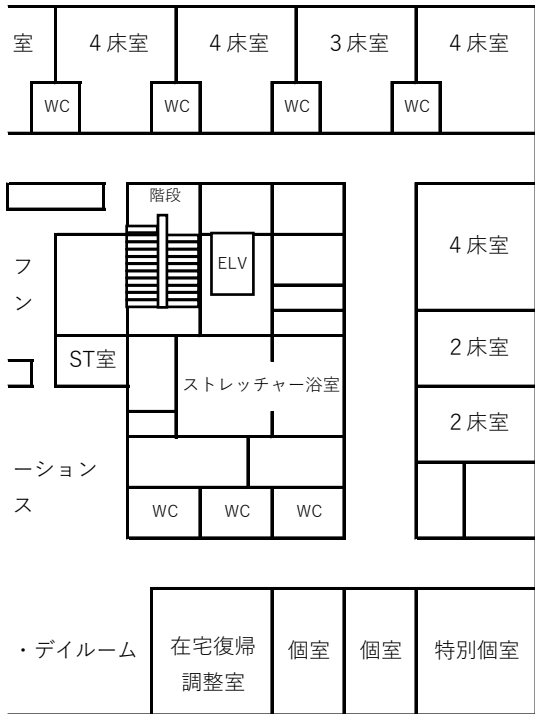
3 F



インターネット
(wi-fi) がご利用
いただけます。



4 床室



2 F



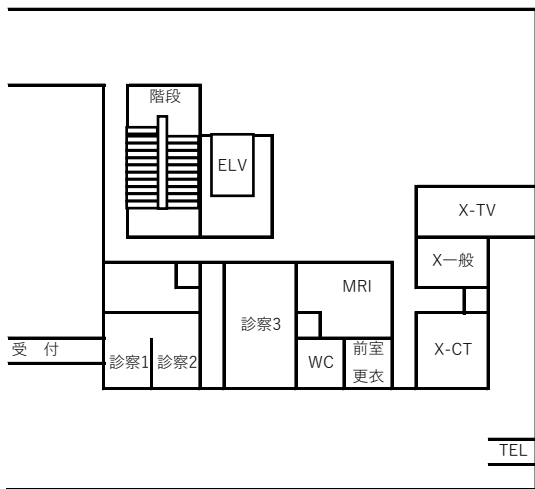
インターネット
(wi-fi) がご利用
いただけます。



2 床室



個室



1 F



個別浴室



ストレッチャー浴室



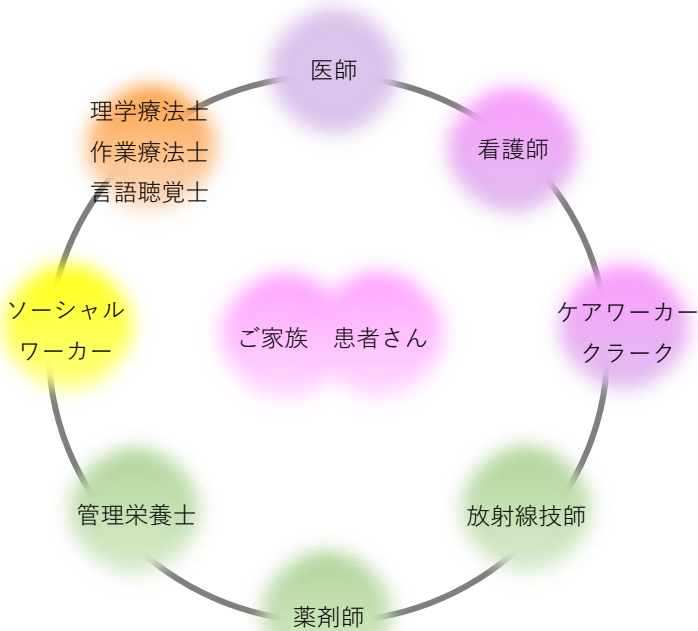
外来ロビー

敷地内禁煙のお願い

当院は健康増進法第25条の定めにより、受動喫煙防止のため、敷地内での喫煙を禁止しております。ご来院、ご入院中の皆さまには、禁煙（非燃焼・加熱式たばこ含む）の厳守をお願いいたします。また、病院周辺においてもマナーをお守りいただき、病院敷地内全面禁煙にご理解とご協力をお願いいたします。

当院の取り組み チーム医療

情報・目標を共有



理学療法士 理学療法は運動療法や徒手の療法、物理的療法を用いて、失われた身体の機能を回復させる治療方法です。当院が担う回復期は、病気やケガの状態が安定し、機能回復や能力改善が最も望める時期といえます。退院後の生活をしっかりと見据え、それに向けたきちんとした評価、治療、検証を徹底して行います。患者さん一人ひとりが安心して退院し、その後の生活を過ごせるよう、お手伝い致します。

作業療法士 作業療法部門では、「患者さんとの協業にて治療を成り立たせ、質の高い結果を残す」事をそれぞれが心掛け、日々のリハビリに取り組んでいます。また、雰囲気作りも大事にしており、明るい環境で笑顔あふれる場の提供も行っています。チーム一丸となり患者さん一人ひとりの未来と一緒に創造し、新たな状況や環境での生活に向けてサポートを行います。

言語聴覚士 病気をきっかけに、コミュニケーションを楽しむこと、食事を楽しむことが難しくなった患者さんの支えになりたい。季美の森リハビリテーション病院での生活はもちろん、ご自宅での生活に、新しい環境での生活に再び楽しみを。私たち言語聴覚士は患者さんと共に、ご家族と共に考え、その支えになりたいと願っています。

医師 入院中、集中してリハビリテーションに取り組むことができるように、前医および院内の多職種と連携しながら、患者さんの体調の維持管理に努めます。主治医制を取りつつも、毎日の回診、カンファレンスを通して患者さんの医学的な問題点を共有し、それぞれの専門的立場から適切に対応していきます。

看護師 患者さん・ご家族の皆さんのもっとも身近な職員として、看護師・ケアワーカー・クラークが所属しているのが看護部です。看護師は、入院から退院まで受けもち制を取り、医師と一緒に病気の治療や病状に合わせた入院生活を調整してケアにあたっています。

ケアワーカー ケアワーカーは、看護師と協働し入院生活がスムーズに楽しくすごせるよう、清潔面のお世話や移動・移乗の介助などを担っています。また季節感をとり入れた四季折々の飾りなどを工夫しています。

クラーク クラークは、主に病棟の事務全般を担っていて、医師の回診と一緒につき診療の事務的業務をしています。

放射線技師 リハビリテーションを担う医療機関として、放射線技師はプロフェッショナルな支援をしてチーム医療に貢献しています。画像診断の重要性が問われる昨今、高いニーズに応えるように最新機器を用いて良質な画像の提供を行っています。業務内容は、MRI撮影・CT撮影・X線一般撮影・X線透視撮影・病棟でのX線ポータブル撮影です。

薬剤師 患者さんに医薬品を安全に服用していただくため、医薬品に関する情報を収集し、医師、看護師等に対して適宜的確な情報を提供しています。また、入院時に持参薬の鑑別を実施し、残薬管理も行っています。退院後の服薬管理をスムーズに行えるよう、一包化、錠剤の粉碎、カプセルを外す等の調剤を行っています。

管理栄養士 リハビリテーションにおいて、管理栄養はとても重要です。栄養とリハビリの相乗効果によるADL（日常生活動作）の向上を目指し、管理栄養士の立場から栄養管理に携わって行きます。安心・安全はもちろん、美味しく、楽しみとなる食事の提供を心がけています。

ソーシャルワーカー 地域医療連携室では、ソーシャルワーカーが入院相談を受け、入院前の案内や面談を行い、なるべく早い時期に入院できるように対応しています。全患者担当制とし、信頼関係を築く事から始め、毎日の病棟申し送りに参加し日々の患者さんの状態を把握、定例カンファレンスでは多職種と目標共有を行い、退院に向けての調整を行なっています。退院した患者さんの経過を紹介元病院へ書面で報告をしています。地域の関係機関との連携も重要ですので、特にケアマネージャーさんには来院して頂き、引継ぎを行なっています。患者さんとご家族には退院後も安心して過ごせるよう、入院中から課題を解決できることを心がけています。

入院相談：地域医療連携室

【代表】 電話 0475-71-3366
 F A X 0475-71-3367
 【直通】 電話 0475-71-2254
 F A X 0475-72-2377

<相談窓口>

月~金 9:00~17:00
 祝日も

対応いたします



相談室

無料で当院までの転院お迎えを行います。



車いすやストレッチャーなどの転院でも、当院専用車両にて無料で行います。ご家族の同乗も可能です。お気軽にお申し付けください。

医療法人社団 鎮誠会グループ

●医療部門



東金整形外科

〒283-0068
 千葉県東金市東岩崎2-26-14
 TEL : 0475-55-8002
 FAX : 0475-55-8003
 休診日/日曜日、年末年始
 診療科目/整形外科・内科・
 リウマチ科・リハビリテーション科
 放射線科



姫島クリニック

〒289-1327
 千葉県山武市姫島268-1
 TEL : 0475-80-1726
 FAX : 0475-80-1736
 休診日/年末年始
 診療科目/整形外科・内科・
 リウマチ科・リハビリテーション科



季美の森整形外科

〒299-3241
 千葉県大網白里市季美の森南1-30-5
 TEL : 0475-70-8951
 FAX : 0475-70-8952
 休診日/年末年始
 診療科目/整形外科・内科
 リウマチ科・リハビリテーション科
 放射線科



千葉きぼーるクリニック

〒260-0013
 千葉県千葉市中央区中央4-5-1 Qlball2F
 TEL : 043-201-6600
 FAX : 043-201-6601
 休診日/年末年始
 診療科目/整形外科・形成外科
 美容診療科・リウマチ科・
 リハビリテーション科・婦人科



季美の森リハビリテーション病院

〒299-3241
 千葉県大網白里市季美の森南1-30-1
 TEL : 0475-71-3366 (代) FAX : 0475-71-3367
 診療科目/リハビリテーション科・神経内科



医療法人社団
鎮誠会



令和リハビリテーション病院

〒260-0026
 千葉県千葉市中央区千葉港4-4
 TEL : 043-242-0180 FAX : 043-242-0170
 診療科目/リハビリテーション科・内科

●介護部門



姫島介護センター

●姫島デイサービスセンター
 TEL : 0475-80-2100 FAX : 0475-82-1550
 定休日/年末年始
 ●とうがねヘルパーステーション
 TEL : 0475-80-2102 FAX : 0475-82-1550
 定休日/年末年始
 ●東金居宅介護支援事業所
 TEL : 0475-80-2103 FAX : 0475-80-2107
 定休日/日曜日、年末年始



九十九里介護センター

●九十九里デイサービスセンター
 ●ショートステイ九十九里
 TEL : 0475-70-7799 FAX : 0475-70-7700
 定休日/デイサービスのみ元旦のみ定休

この森には、人生の春が訪れる。



アクセス



交通アクセス

電車	東京駅	外房線特急 49分	外房線快速 約60分	大網駅	バス・タクシー 約6分	★
	千葉駅	外房線各駅 約25分		大網駅	バス・タクシー 約6分	★
	船橋IC	京葉道路 約21分	千葉東CT	千葉東金道路 約11分	山田IC	一般道 約2分
	海岸千葉IC	東関東・京葉道路 約11分	宮野木JCT	千葉東金道路 約11分	山田IC	一般道 約2分
自動車	木更津金田IC	アクアライン連絡道 約7分	木更津JCT	圏央道 約43分	東金IC	一般道 約5分



医療法人 社団 鎮誠会 季美の森リハビリテーション病院
Kiminomori Rehabilitation Hospital

〒299-3241 千葉県大網白里市季美の森南1丁目30-1

TEL 0475-71-3366 FAX 0475-71-3367

当院ホームページ

QRコード

<http://www.krh.jp>



2024.04